

県立博物館の展示(常設)目録
－学習指導要領・教科書との対照表－

岩手県立博物館

この資料は、学習指導要領や教科書の学習内容と、当館の常設展示を対比させたもので、博物館を活用した学習活動を側面的に支援するために作成したものです。資料活用にあたっては次の事項にご留意ください。

① 当館の常設展示は、総合展示室と、いわて自然史展示室、いわて文化史展示室に展開しており、この展示目録は学習指導要領の社会科(歴史的な内容)と対応しています。

② 2013年3月31日現在の常設展示を記録しています。

③ 常設展示資料は、県土の誕生、いわての夜明け、いわての歩み、庶民の暮らし、いわての今、自然史展示室、文化史展示室等のコーナーを中心に定期的に展示替えをしています。繰り返し展示するものについては、収蔵中のものも常設展示資料欄に載せています。

④ 資料の「見学のポイント」欄は、学習指導の参考のために記載してあります。

⑤ 資料の詳細、不明な点等につきましては、

学芸第三課 博物館・学校連携担当 (電話019-661-2831)にお尋ねください。

原始・古代

学習指導要領 (歴史:小3・4・6)	教科書(教育出版)の 学習内容	総合展示示室		見学のポイント	教材貸出し等	いわて文化史展示室		見学のポイント
		資料名	内容			資料名	内容	
第6学年	第6学年	旧石器時代	テーマ1 いわての夜明け(考古)			① 岩手の土器	パネル(解説)	縄文時代草創期
	1 大昔の暮らし	⑨ 水河期の人々	ア 石器の使い方	パネル(解説)		・岩手の土器	パネル(解説)	B.C10000~6000
(1)我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財、資料などを活用して調べ、歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。		・尖頭器 1点	実物	八幡平市野駄遺跡		・岩手の縄文土器	実物	早期
ア 狩猟・採集や農耕の生活、古墳について調べ、大和朝廷による国土の統一の様子が分かること。その際、神話・伝承を調べ、国の形成に関する考え方などに関心をもつこと。		・局部磨製石器 1点	実物	奥州市江刺区大名野遺跡		・縄文草創期 1点	実物	B.C6000~4000
		・大型打製石器 4点	複製	北上市持川遺跡		・縄文早期 2点	実物	前期
		・エンドスクレイパー 3点	実物	北上市愛宕山遺跡		・縄文早期 1点	実物	B.C4000~3000
		・打製石器 1点	実物	北上市愛宕山遺跡		・縄文早期 3点	実物	中期
		・接合された剥片 1点	接合	北上市愛宕山遺跡		・縄文早期 2点	実物	B.C3000~2000
		・ナイフ型石器 4点	実物	北上市愛宕山遺跡		・縄文前期 2点	実物	後期
		・局部磨製石器 2点	実物	北上市愛宕山遺跡		・縄文前期 1点	実物	B.C2000~1200
		・大渡 II 遺跡	パネル(写真)			・縄文前期 2点	実物	晩期
		・エンドスクレイパー 2点	実物	西和賀町岬山 I B 遺跡		・縄文前期 7点	実物	B.C1200~100
		・エンドスクレイパー 2点	実物	西和賀町大渡 II 遺跡		・大木式土器と円筒土器文	パネル(図)	弥生時代早期
		・エンドスクレイパー 2点	実物	西和賀町耳取 I 遺跡		・縄文中期 3点	実物	B.C450~B.C300
		・エンドスクレイパー 2点	実物	西和賀町大台野遺跡		・縄文中期 1点	実物	前期
		・局部磨製石斧 1点	実物	西和賀町大台野遺跡		・縄文中期 1点	実物	中期
		・石核 1点	実物	西和賀町大台野遺跡		・縄文中期 2点	実物	B.C300~B.C200
		・彫刻刀形石器 1点	複製	西和賀町大台野遺跡		・縄文中期 6点	実物	後期
		・彫刻刀形石器 2点	実物	西和賀町大台野遺跡		・縄文後期 5点	実物	A.D100~300
		・石刃 1点	実物	西和賀町大台野遺跡		・縄文後期 3点	実物	古墳時代
		・石刃 2点	実物	西和賀町大渡 II 遺跡		・縄文後期 6点	実物	3世紀半~7世紀末
		・ナイフ形石器 3点	実物	西和賀町大渡 II 遺跡		・縄文後期 1点	実物	奈良時代
		・ナイフ形石器 1点	実物	西和賀町大台野遺跡		・縄文後期 3点	実物	8世紀
		・ナイフ形石器 1点	実物	西和賀町大台野遺跡		・大洞式土器文様変遷模式	パネル(図)	平安時代
		イ 石器の作り方	パネル(解説)			・縄文晚期 3点	実物	9世紀から10世紀
		・原石 2点	製作			・縄文晚期 4点	実物	
		・石核 2点	製作			・縄文晚期 8点	実物	
		・石刃 2点	製作			・縄文晚期 3点	実物	
		・ナイフ形石器 3点	製作			・縄文晚期 3点	実物	
		土器の時代	パネル解説			・縄文晚期 11点	実物	
縄文の暮らしウォッチング		⑩ 岩手の縄文土器	パネル(解説)			・岩手の弥生土器	パネル(解説)	
		ア 縄文土器の作り方	パネル(解説)			・弥生前期(遠賀川系土器) 1点	実物	土器を比べてみて、違いを見つけて、なぜ違うか考えよう。
		・粘土→積み上げ→施土→施文完了→完成	模型			・統縄文土器(後北C2・D式) 1点	実物	それぞの土器が、生活の中などでどのように利用されたのだろうか。
		イ さまざまな縄文土器	(写真)			・弥生中期 5点	実物	
		・狩猟縄文土器 1点	実物	縄文後期 二戸市馬立 II 遺跡		・弥生中期 2点	実物	
		・壺 1点	実物	縄文中期 二戸市馬立 II 遺跡		・弥生中期 3点	実物	
		・深鉢 1点	実物	縄文中期 盛岡市山王山遺跡		・弥生中期 8点	実物	
		・注口土器 1点	実物	縄文後期 一関市花泉町貝鳥貝塚		・弥生後期 2点	実物	
		・切断蓋付き土器 1点	実物	縄文後期 二戸市淨法寺町合名遺跡		・岩手の土師器・須恵器 5世紀 3点	実物	
		・単孔土器 1点	実物	縄文後期 磐手町出土		・5世紀 須恵器高壺 1点	実物	
		・注口土器 1点	実物	縄文後期 盛岡市堂ヶ沢遺跡		・5世紀 須恵器瓦泉 1点	実物	
		・注口土器 1点	実物	縄文晚期 二戸市雨滝遺跡		・5~6世紀 7点	実物	
		・台付鉢 1点	実物	縄文晚期 二戸市雨滝遺跡		・7~8世紀 6点	実物	
		・香炉形土器 1点	実物	奥州市衣川区東裏遺跡		・7~8世紀 8点	実物	
		・鉢 1点	実物	縄文晚期 八幡平市野駄遺跡				
		⑪ 貝塚の形成	パネル(解説)					

ア 貝層剥取断面図		貝塚は、人々の食べたあとの貝がらや、動物・魚の骨が積もってできたものです。昔の人々は何を食べていたのだろうか。	
イ さまざまな漁撈用具			
・骨鏃 3点			
・鉛 3点			
・鉛 6点			
・鉛用ソケット 2点			
・刺突具 1点			
・骨針 2点			
・骨箆 2点			
・土鍤 5点			
・挟み込み式ヤス 3点			
・釣針 1点			
⑫ 埋葬と装飾品			
ア 繩文人の埋葬			
・屈葬人骨 1体			
イ 繩文人の装飾			
・土製装身具 2点			
・ボタン状石製品 1点			
・鹿角製髪針 1点			
・鳥骨製腰飾 1点			
・勾玉 2点			
・ヒスイ製勾玉			
・土製耳飾 1点			
・土製耳飾 1点			
・貝輪 2点			
・貝輪 1点			
・牙製垂れ飾り 2点			
・獸骨製垂れ飾り 1点			
⑬ 繩文人の暮らし			
ア 復元人物(ジオラマ)			
イ 草内遺跡			
・大型土偶頭部 1点			
・繩文人の足跡			
・トーテムポール様木製品			
・漆状樹脂付着土器 1点			
・漆塗り飾り弓 1点			
・漆塗り櫛 3点			
・木皿 2点			
・石製玉類 4点			
・小型磨製石斧 9点			
・台付深鉢形土器 1点			
・土製首飾り 3点			
・環状土製品 2点			
・岩版 2点			
・スタンプ状土製品 3点			
・動物形土製品 1点			
・土偶 2点			
・台付深鉢形土器 1点			
・土製首飾り 3点			
・環状土製品 2点			
・岩版 2点			
・スタンプ状土製品 3点			
・動物形土製品 1点			
・土偶 2点			
実物			
パネル			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
実物			
複製			
			

<p>⑭ 大洞文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型土偶の一部 2点 ・壺 1点 ・遮光器土偶 1点 ・遮光器土偶 1点 ・岩偶形土偶 1点 ・土偶 2点 ・すわる土偶 1点 ・壺 1点 ・注口土器 2点 ・鉢 1点 ・人面付岩版 1点 ・コノハズク形土器 1点 ・亀形土製品 1点 ・土面 1点 ・石製装身具 4点 ・台付鉢 1点 ・鉢 1点 ・壺 2点 ・皿 2点 ・注口土器 1点 ・ミニチュア土器 2点 ・壺 1点 ・注口土器 2点 ・鉢 1点 	<p>実物 パネル (解説・写真)</p> <p>実物 龍沢村菓子出土</p> <p>実物 盛岡市手代森遺跡(国重文)</p> <p>実物 岩手町豊岡遺跡</p> <p>実物 岩手町豊岡遺跡</p> <p>実物 二戸市雨滝遺跡</p> <p>実物 奥州市衣川区東裏遺跡</p> <p>実物 二戸市雨滝遺跡</p> <p>実物 二戸市雨滝遺跡</p> <p>実物 二戸市雨滝遺跡</p> <p>複製 一関市草ヶ沢遺跡</p> <p>実物 盛岡市川目遺跡</p> <p>実物 一関市草ヶ沢遺跡</p> <p>実物 二戸市雨滝遺跡</p> <p>実物 一戸町蒔前遺跡(国重文)</p> <p>実物 一戸町蒔前遺跡(国重文)</p> <p>実物 一戸町蒔前遺跡(国重文)</p> <p>実物 一戸町蒔前遺跡(国重文)</p> <p>実物 一戸町蒔前遺跡(国重文)</p> <p>実物 一戸町蒔前遺跡(国重文)</p> <p>実物 一戸町蒔前遺跡</p> <p>実物 一戸町蒔前遺跡</p>	<p>土偶は、豊かなぬぐみを頑ってつくられたと考えられています。</p> <p>どうしてこのようなものが出土するのだろうか。</p>	<p>土偶の謎にせまる (ビデオ)</p>	<p>・紡錘車 1点</p> <p>・斧 1点</p> <p>・斧 1点</p> <p>・鋤先 1点</p> <p>・鋤先 1点</p> <p>・鎌 2点</p> <p>・直刀 1点</p> <p>・刀子 1点</p> <p>・刀子 2点</p> <p>・鎌 2点</p> <p>・鎌 2点</p> <p>・責金具 1点</p>	<p>実物 模造品</p>
<p>1 国づくりへの歩み 大昔の暮らしの変化 を見つける</p> <p>米づくりが始まる</p> <p>むらからくにへ</p> <p>⑮ 弥生文化と岩手</p> <p>ア 稲作を始めた時代</p> <p>イ 弥生土器の道</p> <p>・甕 1点</p> <p>・高坪 1点</p> <p>・壺(遠賀川系) 1点</p> <p>・蓋 2点</p> <p>・壺 1点</p> <p>ウ 弥生時代の集落</p> <p>・壺 1点</p> <p>・鉢 1点</p> <p>・鉢 1点</p> <p>・甕 1点</p> <p>・小型甕 1点</p> <p>・壺 1点</p> <p>・太型蛤刃石斧 1点</p> <p>・管玉 1点</p> <p>・土製勾玉 3点</p> <p>・石包丁 1点</p> <p>・石包丁 1点</p> <p>・糲痕のついた土器 1点</p>	<p>実物 パネル (解説)</p> <p>実物 パネル (解説)</p> <p>実物 パネル (解説)</p> <p>実物 一関市谷起島遺跡</p> <p>実物 二戸市大淵遺跡</p> <p>実物 軽米町君成田IV遺跡</p> <p>実物 一関市谷起島遺跡</p> <p>実物 二戸市大淵遺跡</p> <p>実物 パネル (解説)</p> <p>実物 弥生後期 奥州市水沢区常盤遺跡</p> <p>実物 軽米町和当地I遺跡</p> <p>実物 軽米町和当地I遺跡</p> <p>実物 軽米町和当地I遺跡</p> <p>実物 軽米町和当地I遺跡</p> <p>実物 軽米町和当地I遺跡</p> <p>実物 軽米町和当地I遺跡</p> <p>実物 二戸市火行塚遺跡</p> <p>実物 軽米町馬場野II遺跡</p> <p>実物 奥州市胆沢区清水下遺跡(原品県指定)</p> <p>実物 奥州市胆沢区清水下遺跡(県指定)</p> <p>実物 奥州市江刺区兔II遺跡</p>	<p>どんな道具があるだろうか。</p> <p>縄文時代どちらはどこだろうか。</p> <p>縄文時代と似ているところはどこだろうか。</p> <p>変化したわけを考えよう。</p> <p>米づくりが始まり、人々の暮らしはどうに変わったのだろうか。</p> <p>米づくりが広まると、むらの様子はどうに変わったのだろうか。</p>	<p>石包丁(レプリカ)</p>	<p>・紡錘車 5点</p> <p>・台付鉢形土器 8点</p> <p>・鉢形土器 8点</p> <p>・浅鉢形土器 5点</p> <p>・ミニチュア土器 12点</p> <p>・壺形土器 12点</p> <p>・注口土器 7点</p> <p>・岩偶形土偶 4点</p> <p>・土版 2点</p> <p>・各種土製品 4点</p>	<p>実物 (解説・写真・分布図)</p> <p>実物 岩手町豊岡遺跡</p> <p>実物 岩手町豊岡遺跡</p> <p>実物 岩手町豊岡遺跡</p> <p>実物 (解説・図・写真)</p> <p>実物 岩手町豊岡遺跡</p> <p>実物 岩手町豊岡遺跡</p> <p>実物 岩手町豊岡遺跡</p> <p>実物 岩手町豊岡遺跡</p> <p>実物 岩手町豊岡遺跡</p>
<p>巨大古墳と大王</p> <p>古墳をつくった人々</p> <p>⑯ 拓かれる北上平野</p> <p>ア 古墳を築いた時代</p> <p>イ 角塚古墳</p> <p>・角塚古墳復元模型</p>	<p>実物 パネル (解説)</p> <p>実物 パネル (解説)</p> <p>実物 パネル (写真)</p> <p>模型 縮尺100分の1)</p>	<p>古墳の規模や広がりから、どのような</p>			
<p>鉄器が登場すると暮らしはどうに発達するだろうか。</p> <p>魚をとる技術は、どのように進歩しただろうか。</p>	<p>東京帝国大學農科大學紀要第2卷 明治44年(1911)</p> <p>(解説・グラフ・図・写真)</p>				
<p>出土品から、昔の暮らしの様子を考えてみよう。</p>					

木簡からよみがえる
人々の暮らし

・漆紙文書「番状健土関係 解文」 1点	複製	奥州市水沢区胆沢城跡
・漆紙文書「番状健土関係 解文」復元 1点	複製	奥州市水沢区胆沢城跡
・漆紙文書「兵士歴名簿」復 元 1点	複製	奥州市水沢区胆沢城跡
・長頸瓶 3点	複製	奥州市水沢区胆沢城跡
イ 胆沢城跡	パネル	解説・写真)
・坏(須恵器) 2点	実物	奥州市水沢区胆沢城跡
・坏(土師器) 2点	実物	奥州市水沢区胆沢城跡
・鎌 1点	実物	奥州市江刺区力石遺跡
・砥石 1点	実物	奥州市江刺区力石遺跡
・鞴羽口 1点	実物	奥州市江刺区力石遺跡
・胆沢城の瓦 1点	実物	奥州市水沢区胆沢城跡
・軒丸瓦・軒平瓦 1点	複製	奥州市水沢区胆沢城跡
・鬼瓦 復元 1点	複製	奥州市水沢区胆沢城跡
ウ 志波城跡	パネル	解説・写真)(盛岡市)
・円面硯 1点	実物	盛岡市志波城跡
・刀子 1点	実物	盛岡市志波城跡
・斧 1点	実物	盛岡市志波城跡
・轡 1点	実物	盛岡市志波城跡
・鏃 1点	実物	盛岡市志波城跡
・甕 1点	実物	盛岡市志波城跡
・蓋付坏(須恵器) 1点	実物	盛岡市志波城跡
・坏(土師器) 1点	実物	盛岡市志波城跡
・壺 1点	実物	盛岡市志波城跡
・高坏(須恵器) 3点	実物	盛岡市志波城跡
エ 徳丹城跡	パネル	解説・写真)
・徳丹城隅櫓柱脚 1点	実物	矢巾町徳丹城跡
・坏(土師器) 1点	実物	矢巾町徳丹城跡
・坏(須恵器) 1点	実物	矢巾町徳丹城跡
・高台付皿 2点	実物	矢巾町徳丹城跡
・椀 1点	実物	矢巾町徳丹城跡
オ 飛鳥台地 I 遺跡	パネル	(写真)
・手鎌 2点	実物	二戸市飛鳥台地 I 遺跡
・甕(土師器) 1点	実物	二戸市飛鳥台地 I 遺跡
・坏(土師器) 1点	実物	二戸市飛鳥台地 I 遺跡
カ 落合 II 遺跡	パネル	(写真)
・柾 1点	実物	奥州市江刺区落合 II 遺跡出土木器
・下駄 1点	実物	奥州市江刺区落合 II 遺跡出土木器
・うき 1点	実物	奥州市江刺区落合 II 遺跡出土木器

聖武天皇、大仏をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・曲物 1点 ・鋤 1点 <p>㉑ 安倍氏の台頭</p> <p>ア 鳥海柵跡</p> <p>イ 安倍・清原・藤原氏系図</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紡錘車 1点 ・刀子 1点 ・鎌 3点 ・鎌 1点 ・やりがんな 1点 ・鎌 1点 ・環状鉄製品 2点 ・坏(土師器) 1点 ・長頸瓶(土師器) ・琥珀 3点 	<p>実物 奥州市江刺区落合Ⅱ遺跡出土木器</p> <p>実物 奥州市江刺区落合Ⅱ遺跡出土木器</p> <p>パネル (解説)</p> <p>パネル (解説・写真・図) 金ヶ崎町鳥海柵跡</p> <p>パネル (系図)</p> <p>実物 久慈市中長内遺跡</p> <p>実物 久慈市中長内遺跡</p> <p>実物 久慈市中長内遺跡</p> <p>実物 久慈市中長内遺跡</p> <p>実物 久慈市源道遺跡</p> <p>パネル (解説・写真・図)</p> <p>パネル (解説)</p> <p>実物 北上市極楽寺蔵(国重文)</p> <p>模型 多賀城市多賀城跡・仙台市陸奥国分寺跡・奥州市瀬谷子窯跡群他</p> <p>パネル (解説)</p> <p>パネル (図)</p> <p>模型</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・定額寺と龍頭 ・龍頭 1点 ・幡 1点 ・瓦(鬼瓦・軒丸瓦・軒平瓦・丸瓦・平瓦) 8点 	<p>実物 北上市極楽寺蔵(国重文)</p> <p>模型 多賀城市多賀城跡・仙台市陸奥国分寺跡・奥州市瀬谷子窯跡群他</p>
鑑真、海を渡る	<p>㉒ 奥州平泉とその文化</p> <p>ア 平泉文化のひろがり</p> <p>イ 毛越寺・観自在王院復原模型125分の1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・華鬘 1点 ・白磁水柱(12世紀) 1点 ・中国産黄釉褐彩四耳壺(12世紀) 1点 ・常滑産広口壺(12世紀) 1点 ・鷺鷺文鏡鑄(12世紀) 1点 ・銅製六器(12世紀) 1点 ・須恵器系波状文四耳壺(12世紀) 1点 ・常滑産三筋文壺(12世紀) 1点 ・常滑産三筋文壺(12世紀) 1点 ・鳥形1点、鎌形1点、馬壺1点 ・ロクロのかわらけ 2点 ・手づくりかわらけ 2点 	<p>複製 平泉町中尊寺金色院原蔵(原品国)</p> <p>複製 平泉町志羅山遺跡(原品国重文)</p> <p>実物 平泉町柳之御所遺跡(国重文)</p> <p>実物 平泉町柳之御所遺跡(国重文)</p> <p>実物 平泉町志羅山遺跡(国重文)</p> <p>実物 一関市河崎の柵擬定地</p> <p>実物 柴波町山屋館経塚(県指定)</p> <p>実物 柴波町山屋館経塚(県指定)</p> <p>実物 柴波町土館新山神社境内</p> <p>実物 柴波町比爪館遺跡</p> <p>実物 柴波町比爪館遺跡</p> <p>実物 柴波町比爪館遺跡</p>
	<p>日本とアジアの国々とは、どのような交流があったのだろうか。</p> <p>貴族は、どのような暮らしをしていたのだろうか。</p> <p>貴族の暮らしの中から、どのような文化が生まれたのだろうか。</p>	<p>どうして、平泉で中国で作られたものが見つかるのだろうか。</p> <p>なぜ、よその場所で作られたものが発見されるのだろうか。</p> <p>中央政府との交流を考え、中央とどんな関係にあったのだろうか予測してみよう。</p>
藤原道長と貴族の暮らし	<p>㉓ 紫式部と清少納言</p> <p>東アジアと日本のつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・華鬘 1点 ・白磁水柱(12世紀) 1点 ・中国産黄釉褐彩四耳壺(12世紀) 1点 ・常滑産広口壺(12世紀) 1点 ・鷺鷺文鏡鑄(12世紀) 1点 ・銅製六器(12世紀) 1点 ・須恵器系波状文四耳壺(12世紀) 1点 ・常滑産三筋文壺(12世紀) 1点 ・常滑産三筋文壺(12世紀) 1点 ・鳥形1点、鎌形1点、馬壺1点 ・ロクロのかわらけ 2点 ・手づくりかわらけ 2点 	<p>日本とアジアの国々とは、どのような交流があったのだろうか。</p> <p>貴族は、どのような暮らしをしていたのだろうか。</p> <p>貴族の暮らしの中から、どのような文化が生まれたのだろうか。</p>
	<p>㉔ 柳之御所遺跡</p> <p>ア 柳之御所遺跡の出土品・宴の場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロクロかわらけ大皿 1点 ・ロクロかわらけ小皿 2点 ・手づくりかわらけ大皿 1点 ・手づくりかわらけ小皿 2点 ・墨書き器 1点 ・人面墨書き器 1点 ・中国産白磁四耳壺 1点 ・杓子 1点 ・渥美産陶器片 9点 ・吉州窯産陶器片 1点 ・中国産青白磁輪花碗 1点 ・墨書き敷 1点 ・建物が描かれた墨書き敷 1点 <p>イ 日常生活と工房</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円形曲物 2点 ・漆塗り碗 2点 ・漆塗り皿 1点 ・横櫛 1点 	<p>どうして、平泉で中国で作られたものが見つかるのだろうか。</p> <p>なぜ、よその場所で作られたものが発見されるのだろうか。</p> <p>中央政府との交流を考え、中央とどんな関係にあったのだろうか予測してみよう。</p> <p>ふだんの暮らしと作るところとの関係を考えてみよう。</p>

<p>ウ 平泉の文化遺産 3点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銅造聖観音菩薩立像 1点 ・薬師如来坐像 1点 ・聖観音菩薩立像 1点 ・兜跋毘沙門天立像 1点 ・紺紙金銀字文書一切経 1点 ・一切経見返絵 	<p>パネル (解説・写真・表) 複製 複製 複製 複製 複製 パネル (写真)</p>	<p>白鳳～奈良 盛岡市源勝寺原蔵(原品国重文) 平安前期 奥州市黒石寺原蔵(原品国重文) 平安中期 二戸市天台寺原蔵(原品国重文) 平安中期 奥州市藤里智福愛宕神社原蔵(原品国重文) 平安後期 平泉町中尊寺大長寿院原蔵(原品国宝)</p>	<p>仏像はどのようにしてつくられたのだろうか。</p>	<p>・物差し 1点 ・毛抜き 1点 ・手斧 1点 ・連歯下駄 1点 ・扇の骨 4点 ・糸巻き 2点 ・チュウ木 21点 ・金鉱石 1点 ・銅印「磐前村印」 1点</p>	<p>実物 平泉町柳之御所遺跡(国重文) 実物 平泉町柳之御所遺跡(国重文) 実物 平泉町柳之御所遺跡(国重文) 実物 平泉町柳之御所遺跡(国重文) 実物 平泉町柳之御所遺跡(国重文) 実物 平泉町柳之御所遺跡(国重文) 実物 平泉町柳之御所遺跡(国重文) 実物 平泉町柳之御所遺跡(国重文) 複製 平泉町柳之御所遺跡(原品国重文)</p>	<p>当時の人々の暮らしを考えてみよう。</p>

学習指導要領 (歴史:小3・4・6)	教科書(教育出版)の 学習内容	総合展示室		見学のポイント	いわて文化史展示室		見学のポイント
		資料名	内容		資料名	内容	
ウ 源平の戦い、鎌倉(かまくら)幕府の始まり、元との戦いについて調べ、武士によ	2 武士の世の中	<p>テーマ2 いわての歩み(歴史)</p> <p>戦乱の時代とその文化(中世) (解説)</p> <p>㉗ 文治五年奥州合戦 ア 「義経記」と判官最鳳</p>			<p>テーマ2 歴史</p> <p>歴史</p> <p>⑦ 中国古印 ア 官印の変遷</p>		印は、なぜ作られたのだろう。何に使われたのだろうか。

る政治が始まったことが分かること。

武士の時代にタイム
トラベル

1 武士の政治が始
まる

武士ってなんだろう

源氏と平氏が戦う

頼朝、鎌倉に幕府を開く

時宗、元軍の大軍と
戦う

・東鏡(吾妻鏡) 1点
・後三年型鳥帽子 1点
・馨架と馨 1式

・五鈷杵 1点
・蓮華形馨 1点

イ 鎌倉時代の有力豪族

② 豪族たちの動きと庶民

ア 中世城館の分布

・雀紋印の馬印 2点

イ 一戸城全景

・鎧の部品(鎧胸板1点、小
札5点、押付の板1点)

・鎧 2点

・火打金 1点

・苧引金 2点

・刀子 1点

・ハサミ 1点

・御歯黒壺 1点

・薙刀 1点

・曲物の底板 1点

・下駄 2点

・炭化穀物 6点(マメ、アズ
キ、ヒエ、ムギ、ソバ、コメ)

・硯 1点

・曲物井筒 1点

・きぬ女類族交名案 1点

・北畠顕家御教書 1点

・足利直義御判御教書 1点

・和賀郡一揆契状 1点

・骨寺村莊園遺跡

・陸奥国骨寺村絵図 詳細
図 1点

・骨寺村所出物日記事 1点

・大瀬川館出土陶磁片 41点

・柳田館跡出土陶磁片 26点

・中国古錢 62点

② 新しい仏教文化

・毘沙門天立像 1点

・木造藏王権現立像 1点

ア 新山神社の懸仏と和鏡

・銅双雀鏡 1点

・銅菊華双雀鏡 1点

刊本 江戸時代

模型

模型

実物 紫波町比爪館遺跡

実物 紫波町比爪館遺跡

パネル 地図

パネル 解説

パネル 解説・写真

複製

パネル 写真

実物 一戸町一戸城跡

実物 一戸町一戸城跡

実物 一戸町田中4遺跡

実物 一戸町一戸城跡

実物 一戸町一戸城跡

実物 一戸町一戸城跡

実物 一戸町北館B遺跡

実物 一戸町一戸城跡

実物 一戸町一戸城跡

実物 一戸町一戸城跡

実物 一戸町一戸城跡

実物 一戸町一戸城跡

実物 一戸町上野遺跡

実物 鎌倉～室町 奥州市江刺区落合Ⅲ遺跡

複製 鎌倉後期 岩手大学原蔵

複製 南北朝時代 もりおか歴史文化館原蔵

複製 南北朝時代 もりおか歴史文化館原蔵

複製 南北朝内乱期 東北大学原蔵

パネル (写真:一関市本寺地域)

複製 平泉町中尊寺原蔵(原品国重文)

複製 平泉町中尊寺原蔵

実物 花巻市石鳥谷町大瀬川遺跡

実物 紫波町柳田館跡

実物 金ヶ崎町永栄出土

パネル 解説

複製 平安後期 北上市立花毘沙門堂原蔵

複製 鎌倉時代 北上市白山神社原蔵

パネル 解説

実物 平安中期 紫波町新山神社

実物 平安末期 紫波町新山神社

武士と農民は、ど
ういう関係だろうか。

武士は、どのよう
にして力を持つよう
になったのだろう
か。

周秦古璽 2点
漢・六朝官印 3点

隋官印 1点

唐官印 2点

宋官印 2点

元官印 1点

明官印 1点

清官印 1点

イ 紐(ちゅう)の種類

・杙紐(くい) 2点

・覆斗紐(ます) 1点

・瓦紐(かわら) 2点

・橋紐(はし) 2点

・壇紐(だん) 1点

・亭紐(たかやぐら) 1点

・屋紐(やね) 1点

・龜紐(かめ) 1点

・駄紐(らくだ) 1点

・馬紐(うま) 1点

・鉤紐(かぎがた) 1点

・虎紐(とら) 1点

・その他の紐 6点

・吉語印 2点

・肖生印 3点

・両面印 2点

・子母印 3点

実物 太田コレクション
実物 太田コレクション

実物 太田コレクション
実物 太田コレクション
実物 太田コレクション
実物 太田コレクション
実物 太田コレクション
実物 太田コレクション
実物 太田コレクション
実物 太田コレクション
実物 太田コレクション

紐(ちゅう)には、
なぜいろんな種類
があるのだろうか。

エ 京都の室町に幕府が置
かれたころの代表的な建造
物や絵画について調べ、室
町文化が生まれたことが分
かること。

2 室町文化と力をつ
ける人々

金閣と銀閣

力をつける人々

・毘沙門天立像 1点

・木造藏王権現立像 1点

ア 新山神社の懸仏と和鏡

・銅双雀鏡 1点

・銅菊華双雀鏡 1点

⑨ 信仰

ア 紫波町土館新山神社

・木造不動明王坐像 1点

・衿掲羅童子立像 1点

・制多迦童子立像 1点

・厨子入聖観音菩薩立像 1点

パネル (解説)

実物 紫波町新山神社

実物 万治3年(1660) 紫波町新山神社

実物 万治3年(1660) 紫波町新山神社

実物 嘉永7年(1854) 紫波町新山神社

今につながる室町文化	・銅梅華鏡 1点	実物	平安末期 紫波町新山神社	室町時代には、どのような文化が生まれたのだろうか。	イ 鶴住居観音堂慈眼院	・不動三尊立像 1点	パネル (解説)
	・銅秋草双雀鏡 1点	実物	平安末期 紫波町新山神社			・十一面觀音立像 1点	実物 釜石市鶴住居観音堂
	・金銅懸仏 1点	実物	平安末期 紫波町新山神社			・千手觀音坐像 1点	実物 永正10年(1510) 釜石市鶴住居観音堂
	・銅秋草双雀鏡 1点	実物	鎌倉時代 紫波町新山神社			・	実物 江戸時代 釜石市鶴住居観音堂
	・銅菊華双雀鏡 1点	実物	鎌倉時代 紫波町新山神社			・	・
	・銅亀甲地双雀鏡 1点	実物	鎌倉時代 紫波町新山神社			・	・
	・鰐口 1点	複製	鎌倉末期 一関市大東町興田神社原蔵			・	・
	・鰐口 1点	複製	南北朝時代 二戸市淨法寺町天台寺原蔵			・	・
	・まいりのほとけ(連座御影図) 1点	複製	室町時代 花巻市東和町原蔵			・	・
	イ 一遍上人絵伝	パネル (解説)				・	・
イ 一遍上人絵伝	・十一面觀音坐像懸仏 1点	複製	室町時代 陸前高田市黒崎神社原蔵			・	・
	・如意輪觀音像 1点	複製	鎌倉末期 奥州市水沢区正法寺原蔵			・	・
	・西国三十三所巡礼納札 1点	複製	室町時代 平泉町中尊寺原蔵			・	・
	・石塔婆 1点	実物	南北朝時代 一関市教育委員会蔵			・	・
	㉙ 九戸政実の乱	パネル (解説)				・	・
	ア 戦国大名の変遷	パネル (図・年表)				・	・
	・南部信直宛豊臣秀吉朱印状 1点	複製	安土桃山時代 もりおか歴史文化館原蔵			・	・
	イ 九戸城跡	パネル (解説・写真) 二戸市九戸城跡(国史跡)				・	・
	・「奥州南部九戸軍記」 1点	写本	文久3年(1863)			・	・
	ウ 蒲生氏郷	パネル (解説)				・	・
	・鯰尾兜 1点	実物	桃山時代 (県指定)			・	・

学習指導要領 (歴史:小3・4・6)	教科書(教育出版)の 学習内容	総合展示室		見学のポイント	いわて文化史展示室		見学のポイント
		資料名	内容		資料名	内容	
オ キリスト教の伝来、織田(おだ)・豊臣(とよみ)の天下統一 江戸幕府の始まり	3 全国統一への動き	テーマ2 いわての歩み(歴史)			テーマ2 歴史		
		藩政時代の人々(近世)	(解説)		歴史		
		・天保国絵図 陸奥国南部	パネル (地図・写真) 国立公文書館原蔵(国重文)	江戸幕府は、どのようにして開かれたのだろうか。	⑬ 藩政時代の村	パネル (解説)	
		・天保国絵図 陸奥国仙台	パネル (地図・写真) 国立公文書館原蔵(国重文)		・南伝法寺村小絵図式拾三枚之内へ印 1点	実物 元治元年(1864)	秀吉は、役人たちに、全国くまなく検地を行なうように厳しく命じました。検地によって、百姓は田畠
		㉙ 藩政の確立	パネル (図・解説)		・野形絵図面 1点	複製 元治元年(1864)	・
		・徳川幕府県治要略(安藤	パネル (図)		・	・	・

り、参勤交代、鎮国について調べ、戦国の世が統一され、身分制度が確立し武士による政治が安定したことが分かること。

長篠の戦いをさぐろう	博1915年より) 2点	模造 文化元年(1804) 館蔵	幕府は、どのようにして大名を支配したのだろうか。	当宗門相改奉書上帳1点	複製 元治2年(1865)
信長、全国統一を目指す	・浮田番所制札 1点	パネル (解説)花巻市東和町		・検地札 1点	複製 江戸時代
ア 広福寺と源勝寺の寺領	・南部利直黒印状 1点	実物 元和2年(1616)		・古屋敷御検地覚 1点	実物 享保15年(1730)
秀吉、全国を統一する	・南部利直黒印状 1点	実物 元和2年(1616) 盛岡市源勝寺蔵	志和郡南伝法寺村へ印内割田畠屋敷地続順路番附書上帳 1点	実物 元治元年(1864)	
家康、江戸に幕府を開く	・遣ス百姓高書之事 1点	実物 元和2年(1616)		・郷村御吟味御用中御入用諸品書上帳 1点	実物 元治元年(1866)
ヨーロッパと日本の出会い	・四戸基之丞宛南部利直黒印状 1点	実物 寛永4年(1627)		・志和郡小屋敷村吉水郷御吟味御調御用中諸書上帳 1点	実物 元治元年(1864)
	・波々伯部治郎兵衛宛南部直房領地宛行状 1点	実物 寛文6年(1666)		・志和郡小屋敷村吉水村書上絵図面縮図 1点	実物 元治元年(1866)
	・代官所公印 2点	複製 江戸時代 もりおか歴史文化館原蔵		・志和郡小屋敷村絵図拾六枚之内た印 1点	複製 元治元年(1866)
	・伊達亀千代(綱村)黒印状 1点	実物 寛文元年(1661)		・御毛見御先立帳 1点	複製 元治元年(1866)
	イ 仙台藩の貴高制	パネル (解説)		・志和郡打直御検地名寄御帳 1点	実物 元治元年(1864)
	・境絵図	パネル (写真) 元禄14年(1701)		・年数分附覚帳 1点	実物 元治元年(1864)
4 幕府の政治と人々の成長	・将軍徳川綱吉継目判物 1点	複製 貞享元年(1684) 仙台市博物館原蔵		・御検見高 1点	実物 天保4年(1833)
金沢藩の大名行列をさぐろう	・一関藩一つ巴の馬印 1点	実物		・当御年貢米老人限駄寄帳 1点	実物 天保11年(1840)
	・検地模型	模型		・当御年貢米割附帳 1点	複製 天保11年(1840)
	・検地門札 1点	実物 寛永2年(1866) 館蔵		・年貢皆済目録 1点	複製 弘化4年(1847)
家光、大名たちに命じる	・磐井郡東山之内渋民村御検地帳(文政8年:1825) 1点	写本 寛永19年(1642)		・南伝法寺村年貢受取帳 1点	複製 嘉永6年(1853)
鎖国への道	・十手 1点	実物 江戸時代		・当御年貢米并御買米俵組覚帳 1点	実物 安政4年(1857)
	・大肝入使用米すくい 1点	実物 江戸時代			
鎖国下の日本	ウ 宗門改帳	パネル (解説)	幕府は、どのような制度で人々を治めたのだろうか。		
	・盛岡藩領下閉伊郡岩泉村の野田氏の知行地分の宗門改帳 1点	実物 元治2年(1865) 館蔵			
身分ごとに異なる暮らし	・仙台藩領の江刺郡黒石村の人数改帳 1点	実物 館蔵			
	・踏絵 1点	実物 参考資料 江戸時代			
	・十字形不動明王宝剣 1点	実物 江戸時代			
	㉙ 凶作と揆	パネル (年表・解説)	農民は、どのような暮らしをしていたのだろうか。		
	・百姓一揆を禁じた制札1点	実物 明和7年(1770)			
	・農民の碑	パネル (写真) 大迫町			
	・傘形連判状 1点	複製 安永6年(1777)			
	・民間備荒録(天保5年:1834年印刷発刊) 1点	刊本 明和8年(1771)			
	・餓死者供養塔	パネル (写真) 文久7年(1810) 盛岡市東顕寺			
	・飢餓に備えた食料 3点(メノコ、ナラの実、トチの実)	実物			
	・木製のホラ貝 1点	実物 参考資料 江戸時代			

志和郡南伝法寺村へ印内割田畠屋敷地続順路番附書上帳 1点	実物 元治元年(1864)	なぜつい権利を認められるかわりに、決められた年貢を納める義務を負いました。
・郷村御吟味御用中御入用諸品書上帳 1点	実物 元治元年(1866)	
・志和郡小屋敷村吉水郷御吟味御調御用中諸書上帳 1点	実物 元治元年(1864)	
・志和郡小屋敷村吉水村書上絵図面縮図 1点	実物 元治元年(1866)	
・志和郡小屋敷村絵図拾六枚之内た印 1点	複製 元治元年(1866)	
・御毛見御先立帳 1点	複製 元治元年(1866)	
・志和郡打直御検地名寄御帳 1点	実物 元治元年(1864)	
・年数分附覚帳 1点	実物 元治元年(1864)	
・御検見高 1点	実物 天保4年(1833)	
・当御年貢米老人限駄寄帳 1点	実物 天保11年(1840)	
・当御年貢米割附帳 1点	複製 天保11年(1840)	
・年貢皆済目録 1点	複製 弘化4年(1847)	
・南伝法寺村年貢受取帳 1点	複製 嘉永6年(1853)	
・当御年貢米并御買米俵組覚帳 1点	実物 安政4年(1857)	
⑫ 江戸時代の貨幣	パネル (解説・写真)	
ア 藩政時代の貨幣	パネル (解説)	
・皇朝十二銭(8C~)	複製	
・和同開珎 1点	パネル (解説)	
・中国錢の使用(12C~)	実物	
・開元通宝(唐) 1点	実物	
・唐国通宝(南唐) 1点	実物	
・淳化元宝(北宋) 1点	実物	
・景祐元宝(北宋) 1点	実物	
・治平通宝(北宋) 1点	実物	
・元符通宝(北宋) 1点	実物	
・正隆元宝(金) 1点	実物	
・淳熙元宝(南宋) 1点	実物	
・慶元通宝(南宋) 1点	実物	
・紹定通宝(南宋) 1点	実物	

5 にぎわう都市、花開く文化 江戸・大阪・京都の発展 活気あふれる町人の文化 江戸時代の交通と産物	・風聞書南部騒立一件 1点 三閉伊通り百姓一揆安心帰村南部弥六郎印判状 1点	実物	弘化4年(1847)	江戸時代の都市は、どのような様子だったのだろうか。	・至大通宝(元) 1点 ・洪武通宝(明) 1点 ・永楽通宝(明) 1点 ・永楽通宝(日本鑄悪錢) 1点	実物
		複製	嘉永6年(1853)			実物
	㉙ 盛岡城と町づくり ・盛岡城の瓦 1点 ・盛岡城の釘かくし 3点 ・正保盛岡城図 ・盛岡城復原模型 ・盛岡城古図 ・盛岡城と街割 ・盛岡城鳥瞰図	パネル	(解説)		・一両小判 3点 ・享保大判 1点 ・二分金 2点 ・一分金 4点 ・二朱金 8点 ・文政角一朱金 1点 ・丁銀 5点 ・豆板銀 7点(享保1、元文2、文政1、天保2、安政1)	実物
		実物	盛岡城跡出土			実物
	㉚ 産金と製鉄 ・金沢御山大盛之図 1点 ・南部利直黒印状 1点	パネル	(写真) 国立公文書館蔵(国重文)		・一分銀 4点 ・古南遼二朱銀 1点 ・新南遼二朱銀 2点 ・明和五匁銀 1点 ・南遼一朱銀 1点 ・一朱銀 16点 ・古寛永一文銭 15点 ・寛永通宝 6点 ・寛永通宝 6点 ・寛永通宝四文銭(21波) 2点 ・寛永通宝四文銭(11波) 2点 ・文久永宝(四文通用)8点 ・寛永通宝十文銭 2点 ・天保通宝 3点 ・金耕 1点 ・道中財布 1点 ・錢さし 1点 ・藩役所の切手 3点 ・私札 3点 ・人足札 5点	実物
		模型	250分の1			実物
	ア 産金と製鉄「日本山海名物図会」(平瀬徹斎1754年より) ・砂金 1点 ・ユリ椀 1点 ・金鉱石粉碎用の石臼 2点 ・御本判(金山採掘鑑札) 1点 ・砂金採取用具一式 4点 (カッチャビ1、エンブ1、ユリ板1、ネコ1) ・たら模型 ・江川鉄山跡製鉄炉地下断面 ・「どうや」の用具 9点 ・鍛治神掛図 1点 ・延鉄 1点 ・砂鉄 ・砂鉄 1点 ・マサ 1点 ・ドバ 1点 ・洋式高炉の原料 ・餅鉄 3点 ・磁鉄鉱 1点 ・菊印の鉄 1点	パネル	(写真) 江戸中期 盛岡市永福寺蔵		金は、誰がどのようにして採り、何に使ったのだろうか。	実物
		実物	慶長15年(1610)			実物
		パネル	(図)			実物
		実物	江戸後期	鉄は、誰がどのようにして掘り、どのようにして作ったのだろう。また、何に使われたのだろう。その結果、人々の生活はどのように変化したのか考えてみよう。	・イ 仙台藩の藩札 ・ねじり札 2点 ・天明飢餓札 2点 ・升屋札 1点 ・改正札錢札・錦布貼 2点 ・両替所札 4点	実物
		複製	文禄3年(1594)			実物
		実物	江戸時代			実物
		模型	玉山鉄山高殿復元(軽米町)			実物
		実物	岩泉町			実物
		複製	江戸時代			実物
		実物	江戸初期 (釜石市)			実物
		実物	岩泉町			実物
		パネル	(解説)			実物
		実物	一関市川崎町産			実物
		実物	野田村種締産			実物
		実物	洋野町金ヶ沢産			実物
		パネル	(解説) (釜石市)			実物
		実物	釜石市鶴住居川採取			実物
		実物	釜石鉱山産			実物
		実物	一関市藤沢町			実物

貨幣には、どんな種類があるのだろうか。

貨幣は、何でできているのだろうか。

貨幣が使われるようになると、生活はどのようにかわるだろうか。

紙幣が発行されたのは、なぜだろうか。

イ 橋野高炉模型 両鉄鉱山御山内並高炉之図 大橋鉄鉱山絵図 1点 ⑪ 南部と馬 馬面 1点 南部と馬「江戸名所図会」(斎藤幸雄・幸孝・幸成1835年より) 群馬図絵馬 1点 馬頭觀世音菩薩 1点 桑島流(馬医書) 1点 百馬之図 1点 後旧領名所図巻 1点 ⑫ 街道と舟運 さいふ 1点 矢立 1点 旅行用折りたたみ携帯枕 1点 往來手形 1点 道中日記 1点 ア 運輸のいろいろ 東日本沿岸航路図巻 1点 本陣関札 1点 有壁本陣 成田の一里塚 陣笠 1点 イ 舟運 小縁舟(おぐりぶね) 1点 艤船(ひらたぶね) 1点 千石船(せんごくぶね) 1点 舟溜り絵図 1点	パネル (図) タッチパネル 安政5年(1858)～文久元年(1861) パネル (図) 新日鉄釜石製鉄所原蔵 複製 江戸後期 パネル (解説) 複製 時代不詳 パネル (図) 実物 享保16年(1731) 紫波町白山神社蔵 複製 江戸時代 写本 安政6年 九戸村長興寺馬医者坂下氏写本 写図 弘化4年(1847) 犬野永湖写図 複製 江戸末期 もりおか歴史文化館原蔵 パネル (解説) 実物 江戸時代 実物 江戸時代 実物 江戸時代 実物 文政4年(1821) 実物 文化15年(1818) パネル (図) 実物 江戸後期 実物 江戸時代 パネル (写真) 宮城県栗原市有壁 パネル (写真) 北上市成田 実物 パネル (解説) 模型 模型 模型 パネル (図) パネル (解説)	馬は、人々の生活とどのような関係にあったのだろうか。 昔の人は、馬をどのように思っていたのだろうか。 交通の発達によって、各地の様子や人々の暮らしはどのように変わったのだろうか。	ウ 仙台藩の銭銭 寛永通宝四文銭(背千母銭) 1点 寛永通宝四文銭(背千鉄銭) 2点 寛永通宝(背仙銭) 2点 仙台通宝母銭 1点 仙台通宝鉄銭 3点 古寛永銭(仙台銭) 1点 寛永通宝(背千母銭) 1点 寛永通宝(背千鉄銭) 2点 仙台小槌銀 1点	実物 実物 実物 実物 実物 実物 実物 実物 実物 実物				
テーマ3 民俗(展示替えあり)								
民 俗								
玄白ら、「解体新書」を出版する	⑩ 南部小絵馬 作人館扁額 1点 作人館の孔子像 1点 作人館印 2点 官板図書 3点 英和対訳袖珍辞書 1点 摆奮場の木製活字一式	パネル (解説) 複製 江戸後期 盛岡市立仁王小学校原蔵 複製 江戸末期 複製 江戸後期 盛岡市立仁王小学校原蔵 実物 嘉永2年(1849) 実物 慶応3年(1867) 複製 江戸後期	江戸時代には、どのような教育が行われていたのだろうか。	パネル (解説) 複製 永禄7年(1564) 平泉町中尊寺原蔵 実物 寛文6年(1666) 実物 寛文11年(1671)				
寺子屋と藩校	⑪ 南部と馬 馬面 1点 馬頭觀世音菩薩 1点 桑島流(馬医書) 1点 百馬之図 1点 後旧領名所図巻 1点 ⑫ 街道と舟運 さいふ 1点 矢立 1点 旅行用折りたたみ携帯枕 1点 往來手形 1点 道中日記 1点 ア 運輸のいろいろ 東日本沿岸航路図巻 1点 本陣関札 1点 有壁本陣 成田の一里塚 陣笠 1点 イ 舟運 小縁舟(おぐりぶね) 1点 艤船(ひらたぶね) 1点 千石船(せんごくぶね) 1点 舟溜り絵図 1点	パネル (解説) 複製 江戸後期 写本 安政6年 九戸村長興寺馬医者坂下氏写本 写図 弘化4年(1847) 犬野永湖写図 複製 江戸末期 もりおか歴史文化館原蔵 パネル (解説) 実物 江戸時代 実物 江戸時代 実物 江戸時代 実物 文政4年(1821) 実物 文化15年(1818) パネル (図) 実物 江戸後期 実物 江戸時代 パネル (写真) 宮城県栗原市有壁 パネル (写真) 北上市成田 実物 パネル (解説) 模型 模型 模型 パネル (図) パネル (解説)	馬は、人々の生活とどのような関係にあったのだろうか。 昔の人は、馬をどのように思っていたのだろうか。 交通の発達によって、各地の様子や人々の暮らしはどのように変わったのだろうか。	実物 実物 実物 実物 実物 実物 実物 実物 実物 実物				
職業からみるリサイクル都市江戸	ウ 仙台藩の銭銭 寛永通宝四文銭(背千母銭) 1点 寛永通宝四文銭(背千鉄銭) 2点 寛永通宝(背仙銭) 2点 仙台通宝母銭 1点 仙台通宝鉄銭 3点 古寛永銭(仙台銭) 1点 寛永通宝(背千母銭) 1点 寛永通宝(背千鉄銭) 2点 仙台小槌銀 1点	パネル (解説) 複製 永禄7年(1564) 平泉町中尊寺原蔵 実物 寛文6年(1666) 実物 寛文11年(1671)	馬は、人々の生活とどのような関係にあったのだろうか。 昔の人は、馬をどのように思っていたのだろうか。 交通の発達によって、各地の様子や人々の暮らしはどのように変わったのだろうか。	実物 実物 実物 実物 実物 実物 実物 実物 実物 実物				

- ・手習い手本 5点
- ・俳諧風雅帖 2点

- ・節用集 1点

- ・往来物 5点

㊱ 先覚者たち

- ・高野長英の書簡 1点
- ・蘭学階梯 1点
- ・戊戌夢物語 1点

㊲ 維新前夜

- ・会津藩追討沙汰書 1点

- ・榎山佐渡ほか捕縛沙汰書 1点

- ・榎山佐渡・向井藏人宛南部利剛感謝状 1点

- ・盛岡藩知事辞令写 1点

- ・盛岡藩火縄短銃 1点

- ・盛岡藩武庫刀 1点

- ・エンフィールド銃1点、弾丸2点

- ・戊辰戦争の軍曹一式

- ・実物 九戸市長興寺寺子屋で使用
嘉永4年(1851)

- ・実物 15世紀中頃刊行 著者不詳
国語辞書 江戸時代増補

- ・実物 (解説)
複製 文政11年(1828)

- ・実物 江戸後期
写本 天保9年(1838)

- ・実物 (解説)
複製 明治元年(1868) もりおか歴史文化館原蔵

- ・実物 もりおか歴史文化館原蔵

- ・実物 明治元年(1868)

- ・実物 明治2年(1869) もりおか歴史文化館原蔵

- ・実物 江戸時代

- ・実物 江戸末期

- ・実物 江戸末期

- ・模造 慶応4年(1868)

古美術

㊳ 鐸

- ・千田正コレクション
- ・元持コレクション

㊴ 工芸(展示替えあり)

㊵ 刀剣(展示替えあり)

ア 刀剣の制作工程

- ・玉鋼 3点

- ・のこぎり 1点

- ・蝶番 1点

- ・千歯こぎの歯 5点

- ・古釘 4点

- ①積沸しの準備 1式

- ②折返し鍛錬 1点

- ③造込み 1点

- ・実物 (写真)

新しい学問は、世の中にどのような影響を与えたのだろうか。

- ・繫見返駒図絵馬 1点

㊶ オシラサマ

- ・オシラサマ(貫頭衣型) 1点

- ・オシラサマ(包頭衣型) 1点

- ・オシラサマ(貫頭衣型) 1点

㊷ まいりのほとけ

- ・孝養太子画像 1点

- ・善導大師画像 1点

- ・放光阿弥陀如来画像 1点

- ・孝養太子画像 1点

㊸ 南部絵暦

ア 田山暦

- ・諸国奇談東遊記 3点

- ・天明3年田山暦 1点

- ・文化13年田山暦 1点

- ・天保15年田山暦 1点

- ・嘉永2年田山暦 1点

- ・田山歴木活版木 10点

イ 盛岡暦

- ・嘉永7年盛岡暦 1点

- ・安政5年盛岡暦 1点

- ・万延2年盛岡暦 1点

- ・慶応2年盛岡暦 1点

- ・明治3年盛岡暦 1点

- ・明治30年盛岡暦版木 1点

㊹ いわての民俗

「南部角相撲」

刀剣は、どのようにしてつくられるのだろうか。

- ・実物 延享3年(1746)

- ・パネル (解説・写真)

- ・実物 館蔵(宮古市川井)

- ・実物 大船渡市

- ・実物 館蔵(宮古市川井)

- ・実物 館蔵(釜石市)

- ・実物 館蔵(久慈市)

- ・実物 天正2年(1574) (宮古市川井)

- ・実物 明治末期～大正初期 館蔵(久慈市)

- ・パネル (解説)

- ・複製 花巻市東和町

- ・複製 花巻市東和町

- ・実物 岩泉町

- ・実物 岩泉町

- ・パネル (解説)

- ・パネル (解説)

- ・実物 橋南谿(1753～1805)

- ・実物 天明3年(1783)

- ・複製 文化13年(1816)

- ・複製 天保15年(1844)

- ・実物 嘉永2年(1849) 八幡平市

- ・複製 八幡平市

- ・パネル (解説)

- ・複製 嘉永7年(1854) 一戸町

- ・実物 安政5年(1858)

- ・実物 万延2年(1861)

- ・実物 慶応2年(1866)

- ・実物 明治3年(1870)

- ・実物 明治30年(1897) 盛岡市

オシラサマって、なあに。

まいりのほとけって、なあに。

暦は、どうして記号と絵で表されているのだろうか。

④素延べ 1点	実物		
⑤火造り 1点	実物		
⑥土取り 1点	実物		
⑦焼入れ・仕上げ 1点	実物		
イ 太刀と刀	パネル	(解説)	
・太刀 1点	実物	平成7年2月 盛岡市	
④ 絵画(展示替えあり)			

近代・現代

学習指導要領 (歴史:小3・4・6)	教科書(教育出版)の 学習内容	総合展示室		見学のポイント	いわて文化史展示室		見学のポイント
		資料名	内容		資料名	内容	
キ 黒船の来航、明治維新、文明開化などについて調べ、廢藩置県や四民平等などの諸改革を行い、欧米の文化を取り入れつつ近代化を始めたことが分かること。	<p>3 近代国家への歩み</p> <p>新しい国づくりの足跡を訪ねよう</p> <p>1 新しい時代の幕あけ</p> <p>黒船が来た</p> <p>江戸幕府がたおれる</p> <p>新しい政府をつくる</p> <p>西洋に追いつけ</p> <p>人々の暮らしが変わった</p> <p>自由民権運動が広まる</p> <p>国会が開かれる</p>	<p>テーマ2 いわての歩み(歴史)</p> <p>進む近代化</p> <p>⑥ 生活の洋風化</p> <p>・駅舎ジオラマ</p> <p>⑦ 岩手県の誕生</p> <p>・近代化をめざして</p> <p>・明治改元(太政官日誌第81) 1点</p> <p>・岩手新聞誌発刊(岩手新聞誌第1号) 1点</p> <p>・国会開設決定(東京日日新聞) 1点</p> <p>・政党の結成(東京日日新聞) 1点</p> <p>・県会議員当選証書 1点</p> <p>・戸帳辞令 1点</p> <p>・地券 1点</p> <p>・小学読本 1点</p> <p>・卒業証書 1点</p> <p>・学校児童章 1点</p> <p>・鹿鳴館開館(東京日日新聞) 1点</p> <p>・内閣制度発足(時事新報) 1点</p> <p>・岩手日日新聞発刊(岩手日日新聞) 1点</p> <p>・大日本帝国憲法発布(時事新報) 1点</p>	<p>(解説)</p> <p>パネル (解説) 明治時代</p> <p>パネル (解説) 年表 (解説)</p> <p>複製 明治元年(1868)</p> <p>複製 明治9年(1876)</p> <p>複製 明治14年(1881)</p> <p>複製 明治14年(1881)</p> <p>実物 明治15年(1882)</p> <p>実物 明治12年(1879)</p> <p>実物 明治時代</p> <p>実物 明治初期</p> <p>実物 明治10年(1877)</p> <p>実物 明治時代</p> <p>複製 明治16年(1883)</p> <p>複製 明治18年(1885)</p> <p>複製 明治19年(1886)</p> <p>複製 明治22年(1889)</p>	<p>新しい政府は、どのような政治を目指したのだろうか。</p> <p>政府は、なんのためにさまざまな改革を行ったのだろうか。</p> <p>明治時代になって、人々の暮らしはどのようにかわったのだろうか。</p> <p>人々は、政府にどのような政治を期待したのだろうか。</p> <p>憲法が制定されて、政治はどのようにかわったのだろう</p>			

2 二つの戦争と日本・アジア 日清・日露の戦い、戦争の影響と朝鮮の併合 50年かかった条約改正 産業の発達と暮らしの変化 平等な社会を目指して	・市町村制施行(巖手日日新聞) 1点	複製	明治22年(1889)
	・第1回衆議院総選挙(時事新報) 1点	複製	明治23年(1890)
	・勵業場焼 1点	実物	明治初期
	・国立銀行と国立銀行紙幣	パネル	(解説)
	・盛岡第九十国立銀行券 2点	複製	
	・一関第八十八国立銀行券 2点	複製	
	・置きランプ 1点	実物	明治前期
	・岩手県勵業博覧会章牌 1点	実物	
	・紙腔琴 1点	実物	明治17年(1884)
	・第1回帝国議会開会(時事新報) 1点	複製	明治23年(1890)
第3学年及び第4学年 第3学年及び第4学年	・東北本線全通(東奥日報) 1点	複製	明治24年(1891)
	・日清戦争(日本) 1点	複製	明治27年(1894)
	・八甲田山遭難(巖手毎日新聞号外) 1点	複製	明治35年(1902)
	・原敬初当選(巖手毎日新聞) 1点	複製	明治35年(1902)
	・初期の卓上電話機 1点	実物	明治後期
	・手廻しミシン 1点	実物	明治後期
	・手廻し蓄音器 1点	実物	大正初期
	・日露戦争(東京日日新聞) 1点	複製	明治37年(1904)
	・大正改元(巖手毎日新聞) 1点	複製	大正元年(1912)

か。
日本は、なぜ2度にわたって戦争をしたのだろうか。

戦争のあと、日本とアジアの関係はどうのによにかわったのだろうか。

テーマ3 庶民のくらし(民俗)

(5) 地域の人々の生活について、次のことを見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の様子や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽力した先人の働きや苦心を考えるようにする。

1 まちの人たちが受けつぐ行事
 2 昔の道具とくらし

家 の く ら し

④ いりり	パネル	(解説・図・写真)
・自在かぎ 1点	実物	岩泉町
・べんけい 1点	実物	一関市
・火棚 1点	実物	零石町
・木割り 1点	実物	花巻市石鳥谷町
・五徳 1点	実物	

テーマ3 民俗(展示替えあり)

⑩ 郷土料理

- ・自然の恵みと郷土料理
- ・もち料理 10点
- ・キビ料理 1点
- ・まめ料理 1点
- ・そば料理 1点

パネル	(解説・写真)
模型	ふすべ1、あんこ1、くるみ1、しょうが1、なつとう1、ぞうに1、ずんだ1、ごま1、エビ1、ケイラン1
模型	ウキウキダンゴ
模型	豆シトギ
模型	ソバナリ

岩手の料理の特色を考えよう。

ア 古くから残る暮らしにかかる道具、それらを使っていましたころの暮らしの様子	<ul style="list-style-type: none"> ・鍋 1点 ・杓子 1点 ・火箸 1点 ・煙草盆 1点 ・水桶 2点 ・徳利 1点 ・箱膳 3点 ・すり鉢 1点 ・ねり鉢 1点 ・釜 1点 ・米櫃 1点 ・飯櫃 1点 ・ごはんエジコ 1点 ・水がめ 1点 ・かで切り 1点 ・スッパ 1点 ・手あぶり 1点 ・いじこ 1点 ・オカザリ 1式 ・ミダマシ 1点 ・仏壇 1点 ・香時計 1点 	<ul style="list-style-type: none"> 実物 盛岡市玉山 実物 田野畠村 実物 奥州市江刺区 実物 岩泉町 実物 奥州市江刺区 実物 一関市、二戸市 実物 二戸市 実物 宮古市川井 実物 金ヶ崎町 実物 盛岡市 実物 花巻市石鳥谷町 実物 雪石町 	<p>暮らしの中心はいろいろでした。いろいろには決められた座席がありました。なぜだろうか。</p> <p>ふだんは、何を食べていたのだろうか。</p>	<p>② 岩手の民芸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手仕事の日本」に見るいわての民芸品 ・南部桐下駄 1点 ・チャグチャグ忍駒 1点 ・桐馬 1点 ・竹細工 3点 ・高田人形(太鼓持ち) 1点 ・花巻人形(司馬温公斂割) 1点 	<p>パネル(解説)</p> <ul style="list-style-type: none"> 実物 盛岡市 実物 矢巾町 実物 花巻市 実物 一戸町 実物 陸前高田市 実物 花巻市 	なぜこのような産業が発達したのだろうか。
イ 地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事	7 昔から今へと続くまちづくり					
ウ 地域の発展に尽くした先人の具体的な事例	1 吉田新田はどこにあった					
エ 第6学年	④ 正月の行事					
オ 戦争から平和へ	4 戦争から平和への歩みを調べよう					
カ 戦争と人々の暮らし	1 戦争と人々の暮らし					
キ 中国との戦争が始まる	⑤ 庶民の信仰					
ク アジア・太平洋に広がる戦争	ア 戦争と国民生活の変化					

イ 採集漁具

- ・あわびかぎ 1点
- ・やす 1点
- ・かぜ鉤 1点
- ・わかめかま 1点
- ・ほつきつき 1点

ウ サッパ 1艘

- ・浜箱 1点
- ・かぜたも 1点
- ・なじり棒 1点
- ・あわびかぎ 1点
- ・いわしたもの 1点
- ・しめがい 1点

エ 各地の大漁着

- ・大漁パンテン 1点
- ・長パンテン 1点
- ・大漁旗 1点
- ・流し網 1点

オ その他の漁具

- ・たこつぼ 3点
- ・てんてん 3点
- ・いさり 5点
- ・ジブ(ズブ) 1点
- ・箱鏡 2点
- ・はも筆 2点
- ・なまこけた網 1点
- ・餌筆 1点

㊭ 山村の人びと

- ・山の神 1点
- ・とび 1点
- ・まさかり 1点
- ・腰のこ 1点
- ・なた 1点

ア 炭焼

- ・炭焼小屋復原模型
- ・炭焼窯の構造図[岩手窯]
- ・炭焼の工程
- ・えぶ 1点
- ・すだれ 1点
- ・角俵 2点
- ・丸俵 1点

実物 宮古市

実物 宮古市

実物 宮古市

実物 釜石市

実物 田野畠村

実物 釜石市

実物 宮古市

実物 釜石市

実物 宮古市

実物 田野畠村

実物 田野畠村

パネル (解説)

実物 昭和初期 久慈市(展示替えあり)

複製 大船渡市(展示替えあり)

実物 釜石市

実物 田野畠村

実物 陸前高田市

実物 大船渡市

実物 宮古市、大船渡市、釜石市

実物 山田町

実物 釜石市、田野畠村

実物 陸前高田市

実物 陸前高田市

実物 田野畠村

パネル (写真)

模刻 八幡平市

実物 八幡平市

実物 雪石町

実物 雪石町

実物 雪石町

パネル (解説)

模型 縮尺10分の1 昭和初期 久慈市山形町

パネル (図)

パネル (図)

実物 盛岡市

実物 盛岡市

実物 二戸市

実物 二戸市

大漁着は、どのように使用するのだろうか。

山地の多い岩手では、厳しい自然の中で生活していました。どのような仕事をして暮らしていたのだろうか。

・そり 1点	実物	零石町
・背中あて 1点	実物	盛岡市
・かんじき 1点	実物	盛岡市
・けら 1点	実物	盛岡市
・編笠 1点	実物	盛岡市
・えんぶり 1点	実物	盛岡市
・はかり 1点	実物	大船渡市
・炭切鋸 1点	実物	八幡平市
イ マタギ	パネル	(解説)
・山立根元巻 1点	写真	軽米町
・雉笛 1点	実物	遠野市
・鹿笛 1点	実物	田野畠村
・ワラダ 1点	実物	西和賀町
・マスケ(山刀) 1点	実物	零石町
・鉛塊 1点	実物	零石町
・鋳型皿 1点	実物	零石町
・鋳型 3点	実物	零石町
・おくり切り 1点	実物	零石町
・詰替器 1点	実物	零石町
・火薬入れ 2点	実物	遠野市
・根付 1点	実物	花巻市
・火打石入れ 1点	実物	田野畠村
・タテ(熊槍) 2点	実物	零石町
・コナギヤ(雪べら) 1点	実物	零石町
・火縄銃 1点	実物	一関市室根町
・村田銃 1点	実物	大槌町
・熊皮 1点	実物	花巻市
・小出し 1点	実物	西和賀町
・かんじき 1点	実物	零石町
・マタギボッヂ(帽子) 1点	実物	遠野市
・着皮 1点	実物	宮古市川井
・マタギミジカ(上衣) 1点	実物	八幡平市安代
・カッタチ(山袴) 1点	実物	零石町
・前掛 1点	実物	零石町
・ハバキ(脚絆) 1点	実物	遠野市
・皮手袋 1点	実物	花巻市
・皮足袋 1点	実物	花巻市
ウ 南部漆	パネル	(解説)
・漆文書 1点	写真	二戸市
・漆の実押花 1点	実物	二戸市
・漆の葉押花 1点	実物	二戸市

・型紙 2点	実物	二戸市
・漆の木 1点	実物	二戸市
・搔き樽 2点	実物	二戸市、一戸町
・荷造姿 1点	実物	二戸市
・皮むき鎌 1点	実物	二戸市
・道具入 1点	実物	二戸市
・搔き鉢 2点	実物	二戸市、一戸町
・えぐり 2点	実物	二戸市淨法寺町
・搔きべら 2点	実物	二戸市淨法寺町
・油拭 1点	実物	二戸市
・ゴングリ 1点	実物	二戸市
・漆べら 1点	実物	二戸市
まつりと芸能 (展示替えあり)		
④ まつりと芸能		
・神楽の面 7点	複製	大償神楽面4、岳神楽面3

県立博物館の展示(常設)目録
—学習指導要領・教科との対照表—
(小学校社会科歴史教材資料)

編集・発行 岩手県立博物館
学芸第三課 博物館・学校連携担当

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
TEL:019(661)2831・FAX:019(665)1214
ホームページ <http://www.pref.iwate.jp/~hp0910/>